

生後 1 か月の顔面浸出症状と不眠を経て 5 か月後に湿疹が消失した乳幼児アトピーの経過 (1 歳 9 か月 男児)

症例 ID：001-01-TR | 記録日：2002 年 8 月 1 日

1. 診断・治療前経過

生後 1 か月頃から湿疹が出て、耳の付け根から浸出液が出るようになりました。顔全体と頭部へ広がり、かゆみで髪を掻きむしり、夜間にほとんど眠れない状態となりました。

小児科と皮膚科で外用薬・内服薬を使用した後、2002 年 2 月 23 日に松本医院を受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小児科でステロイド外用薬を 3 日間、別の皮膚科で朝夕 5 日間使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	乳児期に合計約 8 日間使用しました。
中止時期	2002 年 2 月の松本医院受診前です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後 1 か月頃	発症	顔面に湿疹が出て、耳の付け根から浸出液が出ました。
他院受診期	一時軽減	短期間のステロイド外用で一時的に皮膚が滑らかになりました。
2002 年 2 月 23 日	治療開始	漢方入浴と外用処置を開始しました。
治療 1～2 か月	ピーク期	黄汁と出血が続き、顔や頭を掻き、床へこすりつける状態でした。
治療 3～4 か月	改善傾向	額の湿疹と頬の赤みが消え、夜間に熟睡できるようになりました。
治療 5 か月超	経過後	湿疹はみられなくなり、皮膚状態が整いました。

4. ピーク時期

ピークは治療開始後 1～2 か月、顔と頭から黄汁と血が出て、強いかゆみのため夜間に眠れなかった時期です。

5. 困りごと

- 顔と頭を強く掻き、床へこすりつけるため、常に見守りが必要でした。
- 薬湯へ長時間入れ、外用処置を繰り返す必要がありました。

6. 経過のまとめ

治療 3～4 か月頃から額の湿疹と頬の赤みが消え、夜も熟睡できるようになりました。

治療 5 か月を過ぎた記録時点では湿疹がみられなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。